

令和6年度 第1回 南大塚保育園 運営協議会議事録

日時：令和6年 7月11日（木）18：00～

場所：南大塚保育園 ホール

出席者：学歴経験者 原田 晃樹 氏（立教大学 コミュニティ福祉学部教授）
保護者代表 植田 薫・寺岡 恵里子・九石 朋絵・田中 祐輔・田中 奈央
宮岸 安弥子・松本 初音・皿田 祥子
事務局 吉山 文子（事業団 保育園課長）
保育園職員 近藤 絵美子 園長
門田 洋行 副園長
宍戸 秀子 主任

司会：吉山 文子

- ※配布資料
- ・第1回 運営協議会 次第
 - ・運営協議会委員名簿
 - ・運営協議会設置要綱
 - ・令和6年度 南大塚保育園年間予定

【 協議事項 】

(1) 委員の委託について

運営協議会委員名簿 参照

(2) 要綱について

運営協議会設置要綱 参照

(3) 会長・副会長について

「運営協議会設置要綱」第3条の3「会長は前項第4号のうちから1を充てます。」より会長は吉山 文子（豊島区社会福祉事業団 保育園課長）が務める。第3条の4「副会長は、第2項第2号の者のうち1人を充てます。」となっているが昨年度で父母の会の活動が終了したため副会長は選任しないこととする。

(4) 委員自己紹介

(5) 令和年6度行事計画

(別紙 年間行事予定参照)

今年は「こども真ん中わくわく保育」を目標に保育を行う。子どものやってみたいな・なんだろうなという気持ちを大切に一年間過ごしていく。明日を楽しみに思っ保育園に来てくれるような毎日を過ごせるようにしていきたい。

7月8日・9日に年長向けに竹早教員保育士養成所の教員3名がいらして、保育研究を行った。

表現活動の中でアナログとICTを融合化して何かできないか？という思いから、タブレットで粘土作品をコマ撮りし、クレイアニメーションを作るという活動で、子ども達の探究心を育てるという取り組みだった。アニメーション動画を夏祭りで流したいと思っている。この取り組みの中でいつもは、見られない子どもの姿や、発見があった。私達も大変勉強になった。探究心を育てる・夢中になって取り組む姿を改めて見ることができ、とても良い時間であった。これを学びにしながら今後も探究心を大事にした、わく

わくするような活動をしていきたい。

・夏祭りについて

今年も予定している。今まで、父母の会にご協力して頂いて夏祭りを開催していた。0、1歳児は午前中の保育中、2歳児以上は夕方から親子参加で行う。

出欠のアンケート回答率は81%だった。アプリにしたことで、いつでも回答できる手軽さがあり、昨年度よりも回答率が良くなっていると感じている。

・運動会・発表会の開催方法は検討中。

0・1歳児は、大きな行事への参加はしない。参観日を設けて子どもの姿を見ていただいたり、一緒に遊んでいただいたりする時間を作っている。詳細は、担任よりお知らせがあるので参加してほしい。

・年間の修繕計画について

公立保育園として設立したのが昭和50年。民営化し法人が運営するようになってからも、公設民営のため、壊れた所の修繕は豊島区保育課が行っている。

今年度は、4月にホールの壁紙改修が行われた。秋頃には、3歳児室・4歳児室・5歳児室の床の改修工事が、予定されている。その間、子ども達の過ごす場所については、ホールを利用していきながら、順番に床の工事をしていく。詳細が決まり次第、保護者の皆様にお知らせする。

部分的な改修については、豊島区が業者を依頼し直して頂いている。

(6) 保護者代表より

Q. オムツのサブスクについて、導入を考えているのか？

A. 公立保育園が導入している。情報収集をしているが割高で意外と利用率は高くはないとのこと。法人の方で検討はしているが現在、導入の予定はない。

Q. 子どもの手形の作品などが毎月飾られているが作品は、もらえるか？

家で出来ない経験ができ季節を感じることもできる。

A. 子どもの作品は、お返しする予定です。

Q. 保育の理念が素敵だなと思っています。基本的な安全と健康、いろいろ大切にされている。モンテッソーリ教育の玩具のようなものが保育室にあるが、取り入れているのか？

A. 他園を見学に行った際に、良い玩具があったので、本園でも取り入れた。良い保育をするうえで、モンテッソーリだけでなく、子どもにとって良いと思う保育や・玩具は、取り入れている。

Q. 周辺の工事は、いつ終わりますか？

A. 区民広場、地域文化創造館は、11月にオープンの予定ですので、その頃には終わると思います。今回は、エレベーターを付けるのがメインの工事。

Q. 昨年、夏祭りは保護者の会が主催だったのか？

A. 昔は、保護者の会が主催で土曜の夕方に開催していた。次第に職員も参加し、近年は、共催で実施していたが、コロナで途絶えてしまった。昨年からは保育園主催で、0・1歳児は、午前中の保育の中で5歳児がお店の手伝いをして「夏まつりごっこ」を行い、2～5歳児までは、「親子で楽しむ夏祭り」として、実施をしている。

Q. 今と昔、両方の夏祭りを経験している方は、どちらが良かったですか？

A. (両方を知る保護者様より回答)

以前の形で良かったことは、子どもが半被着てお店屋さんをやれたのが楽しかった。昔はバザーもあり大変だった。仕事が忙しくて中々、お手伝いが出来なかった。今の形のほうが、子どもと一緒に楽しめるので良い。

A. (保育園より回答)

職員も楽しみながら準備を行っている。子ども達も親子で参加することは良い思い出になると思う。お忙しい中ですがご協力いただきたい。

Q. 現在、ベビーカーを使用している。ベビーカー置き場の天井が低い為、頭をぶつける。何かクッションがあると良い。

A. 保護者の方より要望があったと区の方へ伝える。

Q. うちの子どもは、お昼寝が得意ではなく自分の髪の毛をむしって遊んでいたと聞く。眠れない子にどのように対応しているのか？

A. お昼寝は、睡眠だけでなく休息の時間としてを設定している。特に、夏は、暑さで体力を消耗するので、一日を快適に過ごせるように睡眠と休息の時間を大切にしている。年度の後半は体力もついてくるので、休息時間を短くして、別室で遊んで過ごすなどの対応をしている。

Q. コドモンのドキュメンテーションで保育の様子を知らせてもらっている。猛暑でプールや水遊びができないことが多いのではないかと感じている。他の遊びとかの予定は、あるのか？

A. 部屋の中で普段使わないような素材に触れてみたり、身体を動かして遊べる場所を作ったり、異年齢で交流して過ごしている。室内でも充分、楽しめるよう工夫している。

(7) 学識経験者様より

私の娘が通園していたのが、直営最後の年だった。当時は直営だったが豊島区の保育園の三分の一が民営化される話となった。区の説明会などにも参加してきた。株式会社も手を挙げていたが仕様書を見て不安になった。未経験者で運営するところが大半だったり、食材なども産地が分からないものを使っていた。直営の頃は、子どもに多くのことを経験させる理念で運営していた。職員にはリスクが大きいことかもしれないが経験から学ぶ理念は、今も続けてくれていると思う。民営化後も何かあった時にちゃんと声を出せる場を作ってくれないかということで、父母会を作っていた。こうした運営協議会などは普段は必要ないと思うが、何か問題があった時に、こういう場がないと困るなど実感している。緩やかな連携でも良いと思う。こういう場にできるだけ参加して頂けると有り難い。

(8) その他

(保護者様の感想)

・参加してお話ができ良かった。初めての子育てで保育園に入れる為に豊島区に引っ越してきた。慣れるという意味でも今回、参加させて頂き、保育園での話も実際に聞いて良かった。

・オムツのサブスク等もでき、時代と共に子育てがしやすくなってきたと思う。どんどん新しい意見が出たらいいと思う。出来ることと、出来ないことがあると思うが見極めてできれば良いと思う。

・子どもは急に発熱するが、医者に行かなくても、自然に治る場合もある。しかし、発熱すると保育園から、必ず医者に行ってくださいと言われる。仕方がないと認識しているが、感染症について厳しくなってきたと感じる。

以上

記録 南大塚保育園 主任 宍戸 秀子